

平成 18 年度 野洲市予算 市長コメント

「人と人のきずな」と「さまざまな人々の知恵」を大切にしながら、「ほほえみ」があふれ「ときめき」躍動するまちづくりをめざして、さらなる一歩を！

「ほほえみ・ときめき」のまちづくりを市民の皆さんとともに進める野洲市。国と地方の関係が急激に変化してきた昨今、厳しい財政状況の中であって、自治体にとって“自治力”が試される時代となってきました。

こうした背景の中、市民生活に真に必要な事業を見極め、平成 18 年度予算を編成しました。

特に、本年度は市民生活の安心安全の確保、子育て支援の充実及び環境保全に重点を置いた予算としました。

安心・安全

想定される地震被害の範囲と程度をまとめた新たな地震や風水害の防災ハザードマップを作成するとともに、地域の公共施設の安全対策として、自治会館の耐震診断に対する補助を行います。

また、大規模なテロが発生した際に市民を保護する措置を迅速、かつ的確に実施するため国民保護計画を策定するなど、市民の安心・安全対策に積極的に取り組んでいきます。

子どもを狙った凶悪事件の発生や不審者情報が増加するなど、子どもの安全が脅かされています。子どもの登下校時などの安全を確保するため、「子ども SOS 事業」の拡充に取り組みます。

福祉・保健

本格的な少子高齢社会を迎え、だれもが住みなれた地域で健康で生きがいを持ち生活できるように、子育て支援では、市民相互の助け合いによる育児支援事業として「ファミリーサポートセンター」事業を実施するほか、健康長寿のまちをめざし、生活習慣病の予防や介護予防事業を積極的に実施します。

また、障害者自立支援法の施行に伴い、障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現に向け総合的な自立支援システムを構築するため、介護給付

等の自立支援給付や相談および日常生活支援等を行う地域生活支援事業に取り組みます。

人権

市民一人ひとりの参画によるあらゆる差別のない野洲市の実現をめざして、啓発に積極的に取り組みます。

環境

荒廃が危惧される地域の里山を守るため、里山協定を締結し、里山保全活動を促進するほか、琵琶湖の水質浄化に寄与するため、あやめ浜の再生対策に取り組みます。

協働

市民のまちづくりへの参加機会や基本的な権利を保障する「(仮称)まちづくり基本条例」の制定に向けた取り組みを進めるほか、市民活動や地域コミュニティを推進する拠点施設として、「コミュニティセンターひょうず」の整備を行います。

商工振興

地域の商工業者支援を目的とした、商工業振興事業補助制度を新設し、商工会の育成と市内商工業の振興を図っていきます。

都市整備

生活環境の整備を図るため、引き続き「新市まちづくり計画」において整備推進が示されている野洲川右岸線や、都市計画道路の整備を行うとともに、生活道路の良好な維持に努めていきます。

教育

中学校の完全給食と子どもたちの「食育」を担う学校給食センターの建築に着手します。

また、障害のある方々の心身の健康保持増進を図るため、障害者スポーツ施設を整備します。

将来像

昨年に引き続き、まちづくりの青写真となる第一次総合計画や国土利用計画、都市計画マスタープランの策定に取り組みます。

共感！改善！活力！

平成 18 年度予算の主な新規・拡充事業を整理すると次のとおり

1 豊かな人間性をはぐくむまち

新給食センターの建設
ファミリーサポートセンター事業の実施
こども SOS 事業
児童手当給付の拡大
歴史公園サッカー場の運営

2 人々が支え合う安心なまち

洪水・土砂災害及び防災ハザードマップの作成
国民保護計画の策定
障害者スポーツ施設の建設
障害者の自立支援
障害者福祉計画の策定
地域包括支援センターの運営
小規模多機能型居宅介護施設の整備
介護予防事業の実施
国保ヘルスアップ支援事業基礎調査の実施

3 美しい風土を守り育てるまち

里山協定林及び里山保全活動の支援
あやめ浜再生対策事業の実施
環境基本計画の策定

4 地域を支える活力を生むまち

就労サポートセンターの負担
田園空間センターの運営
富士山サミット実行委員会の補助
商業施設新設等の補助
商工業振興事業の補助

5 潤いとにぎわいのある快適なまち

野洲川右岸線道路改良工事
市内道路維持工事
国土利用計画の策定
都市計画マスタープランの作成
地籍調査の実施

6 市民と行政の協働がつくるまち

コミュニティセンターひょうずの建設
自治会館耐震診断費の補助
(仮称)まちづくり基本条例の制定
総合計画の策定